

「理科のアクティブラーニング ー日本の伝統からいかに学ぶかー」

日本の理科教育のいくつかの研究・実践グループは、50 年以上前から「主体的・対話的で深い学び」(アクティブラーニング)のある授業を小、中、高校で実践し、理論化を行ってきました。海外より 20 年ほど先行した日本オリジナルな研究・実践です。

今回は、中学での授業実践を工夫されてきた松井吉之助氏(元中学教員)から、これまでの日本の理科教育実践の成果と課題等について、玉田泰太郎氏(小学校理科)の授業を研究している岩崎敬道氏(東京都市大学)から、自然科学を子どもたちのものにするための授業をどのように授業を組み立てていくか、そのために何を大事にするかなどを伺います。その後、参加者も交えて、これからの時代をふまえて何をどのように研究・実践していくかを検討します。

2019 年 6 月 23 日(日)10:30~17:00

場 所：東京都市大学世田谷キャンパス 6 号館 1 階 61A 教室 <https://www.tcu.ac.jp/access/>
〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1

昼食をご持参ください

東急大井町線「尾山台(東京都市大学 世田谷キャンパス前)」駅下車 徒歩 12 分

主 催：NPO 法人理科カリキュラムを考える会

対 象：小・中・高・大の理科教育に携わる方、教育ジャーナリスト、一般

参加費：1,000 円(本会会員は 500 円・学生は無料)を当日会場にてお支払いください

申 込：理科カリキュラムを考える会 HP <http://www.rikakari.jp/> からお申し込み下さい

中 継：本会会員のみを対象に Web でプライベート中継(予定)

問合せ：理科カリキュラムを考える会事務局 小川慎二郎 rikakari.jimu(at)gmail.com

開会挨拶「理科のアクティブラーニング」

ー板倉聖宣氏(仮説実験授業)、玉田泰太郎氏、松井吉之助氏などの日本の伝統から学ぶ
滝川洋二(NPO 法人理科カリキュラムを考える会 理事長)

講演1「科教協の授業研究の足跡」

ー『新しい理科教室』、仮説実験授業、極地方式、玉田泰太郎氏をはじめとする成果に学ぶ
松井吉之助氏(元中学校教員)

講演2「玉田さんの授業から学ぶー玉田さんの授業ビデオを見ながら」

岩崎敬道氏(東京都市大学特任教授)

パネルディスカッション「理科を主体的に学ばせるには？」

松井吉之助氏・岩崎敬道氏・滝川洋二理事長

